

## 実践事例発表レジュメ

研修・研究事業名	平成28年度 社会教育主事講習 [B]
実践事例名（テーマ）	知と行動が結び付いた循環型社会構築に向けた 公民館事業及び運営の在り方に関する調査研究
事業主体（実施機関）	秋田県生涯学習センター
連携・協力機関等	
発表者	秋田県生涯学習センター 副主幹（兼）班長 高橋 英

期日 平成29年1月30日

## 内 容

## 1 調査の概要

- (1) 本調査研究の背景：秋田県生涯学習ビジョンの策定
- (2) 趣旨・目的：公民館や市町村の取組の実態把握と情報提供、関係職員の啓発
- (3) 調査内容：公民館の概要、学習の成果を生かす取組、事業改善に関する意向等
- (4) 調査方法：アンケート調査（全市町村社会教育主管課、公民館、公民館類似施設）

## 2 結果分析と考察

- (1) 公民館や社会教育施設の運営体制や事業の傾向から見えること
  - ・ 少ない人員配置と進む指定管理者制度→社会教育行政の質の確保
  - ・ 事業分野の偏り→バランスのとれた社会教育行政
- (2) 事業改善や職員の資質向上に関する意向から見えること
  - ・ 職員の課題意識や意向の共有が課題
  - ・ 公民館運営審議会の活性化と評価に基づいた事業改革が必要
  - ・ 連携・協働の体制づくりは社会教育主事の出番

## 3 特色ある事例紹介

## 4 成果と課題

- (1) 調査研究の趣旨・目的の面から
  - 情報収集と提供（現状・課題・提案）
  - 学習の成果を生かす取組の増加
  - ▲社会の要請に応じる取組の具現化
  - ▲生涯学習ビジョン具現化に向けた取組の継続

(2) 情報の活用の面から

- 統計資料や特色ある事例の活用
- 次年度研修事業や新研究へ接続、新規事業へ反映

(3) 調査方法の面から

- 予算をかけず、市町村経由で公民館の情報を集約するルートの形成
- ▲回答者の負担を考慮（選択肢と自由記述の割合、回答方法の簡便性）
- ▲追跡調査の時期
- ▲回答の妥当性（記載漏れ、回答者の判断）
- ▲県民の意識や実態の把握（公民館を利用しない人の学習ニーズ、意向等の把握）